

だいじなもの

だいじなもの



だいじなもの




なかよしの のんくとみーたん。
いっしょに あそんでいたら
のんくんちの ペッコが あなにおちそうです。

あぶな～い!

うわあ~~~~!



のんくんもみーたんも ペッコも
あなのなかに まっさかさま…。



「どうしよう。ここはどこ？」
おちたところは まっくらなもりのなか。
なきたいきもちになりました。

「こらこら～、おまえたち!

ここでなにをしているのだー!」

きゃー———!



「ペッコをたすけようとして あなにおちちゃったんです」
「おうちにかえりたい。 どうしたらいいですか？」
こわかったけれど ふたりは ゆうきをだしてききました。



「そうか。 わしは もりのまもりがみの ごんごんだ。
ちゃんとはなせて えらかったな。 よし! ついておいで」
ごんごんは ぴかーんぴかーんと めからひかりをだし
もりをてらして あるきはじめました。





くらいもりをぬけて おかのうえにつくと
ごんごんが いいました。
「あのひかりのはしらにのると おうちにかえられるぞ。
とてもとおいけれど あそこまであるいていけるかな」

「あんなに とおいの？」
「でも いかないとおうちにかえれない…」
そして のんくんとみーたんはきめました。
「ひかりのはしらまで いきます！」

あるいてあるいて のどがからから。
「どうしよう、おみずがなくなっちゃった」
のんくんがいうと みーたんもいいました。
「わたしのすいとうも もうからっぽ」



すると ごんごんが
ひみつのわきみずがあるところに
つれてきてくれました。



ごくごく ごっくん。

「つめたいね」「ああ おいしい」
みずをのんで みんな げんきになりました。
さあ、また あるきはじめます。



しばらくすると おなかがぺこぺこ。
「たべものを もってこなかったなあ」
ごんごんが そういうと
のんくんとみーたんがいました。
「かばんのなかに おかしがあるよ」
「わたしも もってる」




「ちょこれーとが すこしあるだけ」
「わたしは あめとびすけっと」
のんくんとみーたんは おかしを
ごんごんとぺっこに わけてあげました。




もぐもぐ ごっくん。

「わけっこすると おいしいね」
みんなで おかしをたべたら
ちからがわいてきました。






どんだん あるいているうちに
だんだん くらくなってきました。
「ちょっと さむいね」
「うん ぼくもさむいな」
のんくんとみーたんは
かばんから うわぎをだしました。
でも それだけでは あたたかくなりません。



「よし たきびをするぞ！」
ごんごんが いったので
みんなで きのえだをあつめました。

ぱちぱち たきびがもえています。
ごんごんは のんくんとみーたんと ペっこを
やさしく つつんでくれました。






あさです。
ぴかぴかの おひさまが みんなをはげめます。
「ぜったい あそこまでいこうね」
「うん。がんばろう」
そうって のんくとみーたんは あるきだしました。

やっと ついた——!



「ぼくたち きたね!」
「いっしょにがんばったね!」
のんくんとみーたんと ペッコは
うれしくてうれしくて むねがいっぱいです。





さあ、ひかりにのって びゅーんと とびたちます。
なかよくなった ごんごと
おわかれするのは さびしいけれど
おおきなこえで いいました。
「ごんごん さようなら。ありがとう～」

ごんごんが てをふっています。
「さようなら～。よくがんばったね～」

ぶじにかえった のんくんとみーたんは
ごんごとすごして きがついた
こまったときにあるといい
だいじなものを ならべてみました。
「あかり、みず、たべもの。あとはなんだろう」



この絵本は、「いわての復興教育」3つの教育的価値『いきる・かかわる・そなえる』のひとつである『そなえる』をテーマに、4～5歳児向けに制作したものです。

主人公の「のんくん（のぞみ）」と「みーたん（みらい）」は、ある日突然、非日常の世界へと迷い込んでしまいます。不安や空腹、寒さなどの苦難に直面しても、勇気を出し、助け合いながら、ついに元の世界に戻ってくることができました。そして2人は、不思議な世界での経験や教訓から、「困ったときにあるといい大事なもの」について考えるようになりました。

「災害は、忘れた頃にやってくる」とよく言われますが、いつ、どこで、どんな災害が起こるかは誰にも分かりません。避難先で一夜を過ごすこともあります。日頃からの備えとして、どんなものがあるとよいかを、お子さんといっしょに話し合ってみてはいかがでしょうか。



内閣府
防災情報の
ページ

【例】

- 非常食や飲料水 予備マスク 軍手 救急セット タオル
- ビニール袋 アルミ製保温シート モバイルバッテリー
- 身分証明書や現金など貴重品 懐中電灯 携帯ラジオ
- 予備の電池 歯ブラシ 雨具・着替え 上履き 他

[参考資料：内閣府発行「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」マンガ冊子]

「だいじなもの」は、きっと人それぞれで、年齢や環境、時代によっても変化していくかもしれません。「大事なものは何か」を考えると、同時にそれは「大事にしたいもの」を見つめることでもあります。

子供たちの未来には、多様な人々との共存・共生、未知なる事象との出会いの数々が待っていることでしょう。そんなとき、自分にとっての「だいじなもの」を心の宝物にして、幸せな人生を歩んでくれることを願っています。

ふっ こうきょうい く え ほん
「いわての復興教育」絵本

令和6年2月

いわ て けんきょうい く い いん かい
岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

TEL 019-651-3111(代)



いわての復興教育